

実臨床データを用いた肝門部領域胆管癌の術前ドレナージ法別の有効性と手術に及ぼす影響に関する多施設共同検討

1. 研究の対象・研究期間

当院で 2018 年 1 月～2020 年 12 月に肝門部領域胆管癌の検査、治療を受けられた方

承認日～2023 年 12 月 31 日

2. 研究目的・方法

2018 年 1 月から 2020 年 12 月までに、肝門部領域胆管癌と診断し術前に胆道ドレナージ術を行い根治手術を行った患者の病歴、血液検査成績、画像所見、経過をカルテ記録にて後方視的に調べ、それらの症例を解析し、術前の胆管ドレナージ術の方法別の有効性を検討します。その結果、肝門部領域胆管癌に対する術前胆道ドレナージ術のコンセンサスを明確にするとともに、その適応や方法を確立することを目的にしています。個人情報学外に出ることはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ情報、治療歴、血液検査成績、画像所見 等

4. 外部への試料・情報の提供

代表機関（藤田医科大学）へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究主催

日本胆道学会

研究代表者

藤田医科大学 消化器内科 教授 橋本千樹

共同研究機関

日本胆道学会認定指導施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

資料 4

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先及び研究責任者：

研究責任者：

相浦浩一

川崎市立川崎病院 内視鏡センター

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

-----以上